

宮島の東町の形成と発展

宮島の町は、塔の岡を境とする西町と東町という二つの町から構成されています。この講座では、有之浦の港を起点とする町並みが戦国時代に形成され、江戸時代には東町として発展する過程について、古文書や絵図などから考えます。

■ 日 時：令和6年11月20日（水）14:30～16:00（受付開始 14:00）

■ 会 場：etto 宮島交流館
（宮島まちづくり交流センター、廿日市市宮島町 412）

■ 講 師：県立広島大学名誉教授 秋山 伸隆

■ 受講料：無料

■ 募集人数：50人

■ 申込方法：

往復はがきの往信裏面に①名前、②ふりがな、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を、返信表面に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の申込先に郵送してください。往復はがき1枚につきお一人のお申込でお願いします。申込者多数の場合は抽選とします。あらかじめご了承ください。申込締切日以降に返信はがきで受講の可否をお知らせします。

※令和6年10月1日に郵便料金が改正され、はがき1枚あたり85円になります。旧料金の往復はがきを使われる場合は追加料金の切手をお貼りください。

■ 申込締切：令和6年11月5日（火）必着

■ 申込・問合せ先：

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71
県立広島大学宮島学センター 公開講座②係
TEL082-251-9534（地域連携センター内）

■ 主催：県立広島大学 宮島学センター/廿日市市教育委員会